

## 基調講演

テーマ

『雪舟入門』

コーディネーター

講師 島尾 新

プロフィール

昭和28年東京都生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業。同大学院人文科学研究科美術史学専門課程修士課程修了。

現在、東京国立文化財研究所美術部主任研究官として勤務(専攻分野...日本中世絵画史)。室町水墨画研究会の中心メンバーとして早くから活躍し、ボストン美術館やフィラデルフィア美術館の水墨画調査等にも従事する。近著「瓢鮎図 - 絵は語る」や『美術研究』掲載論文「雪舟等楊」は高く評価されている。

主な著書等

『禅林画賛』(共著)、『日本美術史』(共著)、『能阿弥から狩野派へ』

論文

雪舟等楊の研究(一) - 雪舟のイメージ戦略 -

” (二) - 『五山文学』のなかの画家たち -

なぜ雪舟か? - 雪舟研究の面白さ -

お待たせいたしました。

それでは、「雪舟入門」と題して東京国立文化財研究所主任研究官、島尾新先生によりまず基調講演をはじめさせていただきます。

では、講師のご紹介を芳井町企画振興課長小林伸三が行います。

(企画振興課長・小林)

それでは、これからご講演をいただきます島尾新先生について、簡単にご紹介をさせていただきます。

先生は、昭和28年に東京都でお生まれになっております。東京大学文学部美術史科学科をご卒業された後、同大学院の美術史学専門修士課程を終了されて、昭和59年に東京国立文化財研究所に奉職されております。

現在、同研究所の美術部の主任研究官としてご勤務をなさっております。日本中世絵画史を専攻されており、室町水墨研究会の中心メンバーとしてご活躍になっております。主な著書には「禅林画賛」「日本美術史」などがあり、また雪舟等楊、雪舟の弟子たちなど多くの論文を発表されておりました、その才能を高く評価されております。このたびの雪舟サミットの基調講演の演題といたしまして「雪舟入門」というテーマで、これからお話を

いただくわけですが、それでは早速ですがご講演をいただきたいと思います。

島尾先生どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

島尾 新

ただいまご紹介いただきました島尾でございます。

まず、お話を始めます前に、このような非常に大きなイベントへご招待いただきましたこと、それから雪舟についてこういうお話をする機会を与えていただいたことを感謝したいと思います。それと、これだけの大きなイベントですからご準備大変だったと思います。その準備にご尽力された芳井町の関係者の方々のご苦勞にも敬意を表したいと思います。

それでは、特に私こういう場でお話しをさせていただくのはとてもうれしいと思いますのは、どうしても日本の古美術といいますと、今非常に一般の方々から縁遠いものになっておまして、雪舟というのは日本では非常に有名な画家なんです、それでもなかなか一般には知られていない。私ども今度こちらへ参りますのに、家から東京駅までタクシーに乗りまして、運転手さんには、これからちょっと岡山まで行って雪舟の話をするんですよと言いましたら、「ああ、知っとるよ」と、「足の指でねずみをかいた人でしょ」、これだけは全国で皆さんご存じなんです。でもその後で「じゃ雪舟の絵って見たことがありますか」と行ったら、「え、絵は知らない」と。で、がっくりするわけですけども。そういう中で、こういう雪舟サミットという、雪舟にゆかりのある土地の方々、6つの場所からお集まりいただいて、その雪舟についていろいろとお話をしてくださるといのは、これはもう非常にうれしいことでありまして、なかなかないことだろうと思います。

私もいろいろなところへ行って、雪舟に皆さん仲よくなっていたらこうと思ってお話をしているんですけども、やはり何といいまして、知っていただきたいのは私ども美術史ですから、美術史というのはやはり絵の方からは始まります。で、できるだけまた雪舟の絵と仲よくなっていたきたいというのがきょうのお話でして、「雪舟入門」とつけましたのはちょっと僭越な気もいたしまして、昨日もこちらの雪舟を語る会の方々と、ちょっとお食事をさせていただいたんですけども、でもお話を伺っていると結構皆様も非常に詳しいんで、何か釈迦に説法といいますが、何か失礼な感じもするのですが、これから映るスライドはもう皆さんはよくご存じの作品だろうと思います。ですから、本日の場合は雪舟のよく知られた有名な作品にもっと仲よくなっていたくということでお話をしようと思います。

雪舟の伝記とか、そういうことにつきましては、この後でまたフォーラムがございます。そちらの方へ全体を譲りまして、早速ですけどもスライドを始めさせていただきたいと思います。

「雪舟入門スライド説明」

それでは、がさつな話ではありますが、またすぐこの次はフォーラムの方へ続きますので、何ていいですか、私どもまとめのお話というのは、とりあえずフォーラムの方の最後

ということにいたしまして、私の方からの話を終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。(拍手)

司会(森中)

島尾先生には大変熱のこもったご講演をいただきまして、まことにありがとうございました。スライドを使ってのたくさんの絵を見せていただきました。余り興味のなかった私どもも思わず見入ってしまいました。島尾先生にいま一度盛大な拍手をお願いいたします。(拍手)

次に行います雪舟フォーラムの準備のため、しばらく閉幕させていただきます。